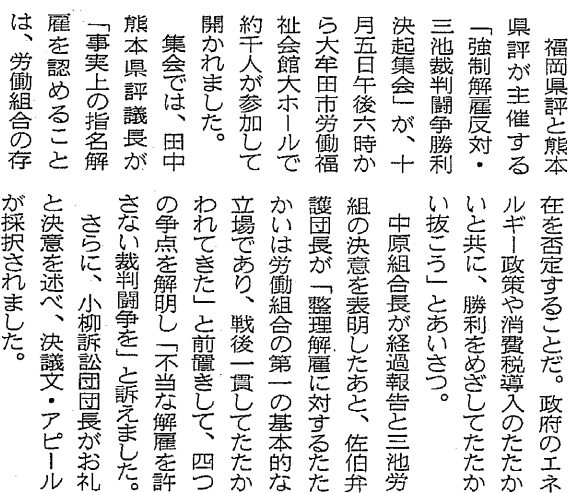


裁判闘争勝利決起集会



「基準解雇は不当」

第一回公判で口頭弁論

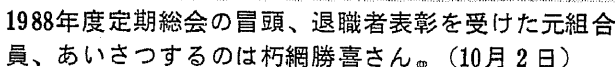
六月二十九日付で「基準退職」を強制した整理解雇（総数二百四十人）を認めないとして、解雇無効確認などを請求している訴訟（三池労組員二十四人）の第一回公判が十月五日十一時三十分から開かれ、小柳原告団長が意見（二面に全文）を陳述したあと、藤本弁護士が訴状を補充する弁論をおこないました。また公判終了後、報告集会を開きました。（次回は十二月七日午前十一時）

委員会、慣例によって最高幹事委員である西原委員を仮議長として議事に入り、松本選挙管理委員長から選挙結果の報告と当選宣言がおこなわれ承認されました。

ついで、各職場分会から選出された委員の自己紹介があり、議長団を選出、栗野議長があいさつ。さらに杉本前編集部長、田中前監査がそれぞれ退任のあいさつを述べました。

また、新執行部の紹介と中原組台長のあいさつ、政治局の紹介とあいさつのあと、別項の機関構成などを決めました。

會計監査	田中 國洋	非常任	保安委員	黒田 勝儀	第一鉦	健保議員	大島 義幸	第一鉦
會計監査	松岡 大喜	非常任	保安推進員	栗野 親生	第一鉦	健保議員	田中 精一	一本所
議長	栗野 親生	1分会	安全衛生委員	猿渡章博	港務所	懲戒委員	松本 剛泰	3分会
副議長	田中 精一	6分会	保安委員	森 阜	一本所	懲戒委員	市成 義弘	7分会
委員			生産委員			懲戒委員	津波古文男	1分会
1分会	◎栗野 親生	常一仕繰	第一鉦	西村 國昭	採炭	懲戒委員	森 阜	執行部
2分会	津波古文男	常一仕繰	第一鉦	北村 存掘	進	懲戒委員(副)	森田 進	2分会
3分会	大野 源六	甲方仕繰	第一鉦	大野 源六	仕繰	裁定委員	桃島 敬三	4分会
	森田 進	乙方仕繰	第一鉦	大島 義幸	機械	裁定委員	栗野 親生	1分会
	◎藤田 嘉広	丙方仕繰	第一鉦	松本 剛泰	電気	裁定委員	西原 隆寛	6分会
	◎松本 剛泰	坑内電気	第一鉦	桃島 敬三	坑外	裁定委員	芳川 勝	執行部
	大島 義幸	坑内機械	本所	西原 隆寛	選炭	裁定委員	藤田 嘉広	2分会
			浦川 秀夫	電 氣				



定期総会で行動方針・予算決まる

激しい合理化闘争を経て、一九八八年度の定期総会が労働金庫大牟田支店ホールで十月二日午前九時から開かれ、今後のたたかいに全力をあげ、さらに団結して諸課題を遂行するための行動方針と予算を決定し、大会宣言（二面）、スローガンを採択しました。

組合歌「炭掘る仲間」の全員合唱で始まった定期総会は、議長団あいさつのおと一年間の犠牲者に黙とうを捧げました。

恒例の退職者表彰では、二十七人に表彰状と記念品が贈られ、代表して朽網勝喜さんがお礼と決意を述べられました。

局長、社会党・細谷代議士、共産党・下川福岡県議、労働金庫・清見荒尾支店長、退職者の会・緒方会長、政治局・酒井熊本県議がそれぞれ情勢や合理化問題にふれながら激励と連帯のあいさつをおくられました。なおこのほかに、式島荒地評会長、斉田労働金庫大牟

長は、石炭政策と合理化問題、裁判闘争、CO協定、9・28和解交渉、労働問題にふれて決意を表明、つづいて来賓の大地評・安田事務

尾市議が出席、紹介されました。さらに、藤田主婦会会長、渡辺参議からのメッセージ、城之内大牟田記念病院理事長、中村金芳済

第一回委員會で機関構成

八次策にも明記されている「地下産業にふさわしい労働条件」に少しでも近づけるために要求実現へのたたかいが求められています。

すが、上期妥結額が協力一時金や立ち上がり資金を合算して三十一万円にとどまっております、以前の水準にさえ到達していません。

の日午後五時から第一鉦正門前で抗議集会を開き、裁判の意義をおうためて確認し、今後のたたかいを誓い合いました。

ては、すでに大衆討議を終え意見集約の委員会を経ていましたが、提案説明のち討議に入り、情勢の項では天皇問題、消費税、労働問題。さらに総括と方針では統一活動。企業側のかたい姿勢によって、じん肺・せき損の入院準備金と労務補給金が若干引き上げられただけで、ほとんど改善されることなく終わっています。

八八年末闘争は、秋季闘争が決着する十月末に要求書を提出し、十一月下旬の決着を目途にたたかわれます。

鉦で坑内火災が発生し、上村さんをはじめ七人が死亡、四百人以上がCO患者となった災害から二十一年目を迎えました。

報告事項では一九八七年度の決算報告と監査報告が承認され、議事に入りました。

報告事項では一九八七年度の決算報告と監査報告が承認され、議事に入りました。

延長などを要求して、十八日に中央闘争委員会を開き、当日第一回の交渉が開かれます。

昨年の秋季諸要求は、第八次石炭、

害 頸癌、絞中症、腰痛）、定年

裕陽興之善理事長ならぬ杉曾た披露されました。

要求と同額)。さらに自己都合退職、その他の退職についての引き上げを求めています。

9.28 抗議

集會開く

11月2日 9・28第四回和解交渉
27日 有明鉱災害公判（結審）
27日―29日 執行部入抗点検
22日―23日 CO検診
22日 大地評荒地評定期大会
21日 国際反戦デモ集会
18日 炭労中央闘争委員会

炭勞、秋季鬭爭へ

提案説明があり、承認・決定されたあと、大会宣言（二面）・スロウガンを採択、『がんばろう』合唱、「団結頑張りよう」を三唱して終わりました。

炭労の秋季闘争は、退職手当、なお、退職手当の要求では、基

11・9大災害抗議集会

一九六三年十一月九日に発生した三川鉦大災害から二十五周年を迎えて、左記のように抗議集会を開きます。

と き 十一月九日（水）

午後一時開場・一時三十分閉会

9・28抗議集会開く



一九六七年九月二十八日、三山鉾で坑内火災が発生し、上村さんをはじめ七人が死亡、四百人以上がCO患者となった災害から二十二年目を迎えました。

裁判闘争も結審となり、現在和解交渉が進められていますが、この日午後五時から第一鉾正門前で抗議集会を開き、裁判の意義をあらためて確認し、今後のたたかいを誓い合いました。

機関構成

機 関 構 成	本所	新本	通敬	工作
	港務所	市成	義弘	鉄道課
	港務所	平川	道治	鉄道課
	港務所	中村	恒夫	施設課
	港務所	山田	武俊	荷役課
	敬三	坑外資材		
	◎栴島	坑外特務		
	◎緒方	正人		
	◎田中	精一	坑外機械	
	◎西原	隆寛	坑外機械	
執行部				
組合長	中原	一	非常任	
	書記長	田口	芳博	常任
健康保険組合				